

表3 非価格要素の定量化審査における審査項目、審査の視点及び配点

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 審査の視点 | 配点 (60点) |
|-------------|--------------|---|---|-------------|
| 安全・安定な施設 | 安全・安定な施設 | No. 1 ごみ量、ごみ質の変動への対応及び安定した無駄のない操炉計画 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 幅広いごみ量、本組合特有のごみ質に対応することができる性能曲線に沿った提案となっているか。 ごみピット、粗大ピット、受入ヤード、下水道汚泥受入ホッパについて操炉計画に基づく適切な容量の提案となっているか。 また安定した焼却のためのごみピットにおける攪拌の方法・下水汚泥の混合は適切か。 本事業の特徴（下水道汚泥処理・280日を超える稼働日数・高カロリーごみ質）を踏まえた安定した無駄のない操炉計画の提案となっているか。 ※操炉計画は過去のごみ処理実績を踏まえ、最大の年間売電量に配慮した計画とし、最適なメンテナンス期間を確保したものとすること。 | 5 |
| | | No. 2 事故発生防止対策及び事故発生時の対応、受け入れできない廃棄物混入防止対策 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> フェールセーフ、フルブール設計（事前発生防止、発生時の被害拡大防止計画等）を考慮した提案となっているか。 過去に経験した具体的な事例を基にしたトラブル、事故への対処方法を踏まえた提案となっているか。 受け入れできない廃棄物混入防止計画を考慮した提案となっているか。 鯖江市・越前町以外からの搬入に対する対策について提案されているか。 ごみピットへの車両や人間の転落防止措置を考慮した提案となっているか。 粗大ごみ処理施設での火災防止対策及び火災発生時の対策を考慮した提案となっているか。 | 5 |
| | 適切な運営管理を行う施設 | No. 3 適切な組織体制及び人員配置計画、教育計画 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 人員配置及び組織計画図において、工夫された提案となっているか。 職員の人材育成を配慮した提案となっているか。 | 4 |
| | | No. 4 リスク管理及びセルフモニタリングへの取り組み、事業の継続性の担保 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 運営事業者への協力体制、バックアップ体制（通常時、経営悪化時等）を考慮した提案となっているか。 運営期間にわたる安定した事業収支計画となっているか。 リスク管理方針、リスク管理体制は明記されているか。 ※リスクの顕在化確率及び顕在化時の影響の極小化に考慮すること。 必要かつ十分なセルフモニタリング（事業計画のモニタリング）の内容及び頻度を考慮した提案となっているか。 本事業において想定される最適な保険内容となっているか。 | 2 |
| 周辺環境に配慮した施設 | 環境保全に配慮した施設 | No. 5 公害防止基準（要監視基準値等）及び遵守計画 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 各項目の要監視基準値及び運転基準値に対する考え方及び遵守方法は適切な提案となっているか。 ※要監視基準値等は、安全性を最大限考慮した過度な値とせず、安全性及び経済性を考慮した値を提案しているか。 温室効果ガスの最小化への取り組みはなされているか。 | 2 |
| | 環境に配慮した施設 | No. 6 本組合の特長及び新ごみ焼却施設等の周辺環境と調和した景観デザイン | 本項目は、以下の視点を考慮して審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 本組合の特長（鯖江市及び越前町が所有する名所等との調和） 新ごみ焼却施設等の立地（周辺環境との調和） 35年程度の長期使用を踏まえた外観デザイン 建屋高さ 工夫点 等 | 2 |
| | | No. 7 環境学習への取り組み | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 見学者動線図（イメージ図） 環境学習機能 ※なお、見学者動線及び環境学習機能については、以下の視点を考慮して提案しているか。 小学4年生の社会科見学、行政視察等を対象とした内容とする。 ごみの発生から処理における一連の流れを見学者等が理解できる内容とする。 新ごみ焼却施設等の立地条件を踏まえた内容とする。 陳腐化対策の工夫、更新計画 等 | 2 |
| 経済的・効率的な施設 | | No. 8 敷地内における収集車両動線と直接搬入車両動線、施設配置計画 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 安全かつ合理的な収集車両動線と直接搬入車両動線となっているか。 ※通常時の直接搬入車両の渋滞対策及び直接搬入車両台数が増加する時期の渋滞対策を考慮した提案となっているか。 利便性及び効率性が高い施設配置計画となっているか。 ※本組合の特徴（直接搬入車両の台数が多い）を踏まえ、最適な施設配置計画となっているか。 | 6 |
| | | No. 9 施設内における機器配置及び作業動線計画、施設の長寿命化を見据えた設備・機器の維持管理計画 | 本項目は、以下の内容について審査する。特に、プラントの持つ特性・性能が発揮できる内容となっているか。 <ul style="list-style-type: none"> 安全対策及び作業効率の向上の工夫が施された機器配置及び作業動線計画（メンテナンス車両動線を含む）となっているか。 主要設備（特に過熱器）の耐用年数及び35年程度の長期使用を踏まえた工夫がされているか。 長寿命化を念頭に置いた維持管理計画（点検・補修計画等）となっているか。 メンテナンス費低減の工夫がされているか。 | 6 |
| | | No. 10 工程管理計画、工期遵守のための対策 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 工事（設計・施工）工程表とその管理方法は適切か。 工期遵守のための工夫（働き方改革への対策を含む）はされているか。 経験的に推測される工事遅延の要因とその対策を踏まえた提案となっているか。 | 2 |

表3 非価格要素の定量化審査における審査項目、審査の視点及び配点

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 審査の視点 | 配点 (60点) |
|-------------------------|----------------------|--------------------------------------|---|-------------|
| エネルギーを有効利用する施設 | 高い発電機能を有する施設 | No. 11 発電効率、発電量の最大化計画 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 発電効率及び想定される年間発電量の見込みは。 発電効率、発電量の最大化への取り組みはされているか。 経験的に推測される発電効率・発電量の最大化を阻害する要因とその対策を踏まえた提案となっているか。 実現性の高い提案となっているか。 | 5 |
| | エネルギーを有効利用する施設 | No. 12 売電量の最大化計画 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 想定される年間売電量の見込みは。 施設内の消費電力の削減量及び最小化への取り組みはなされているか。 継続的に売電量を確保する工夫（操炉計画に関する内容以外で提案すること）はなされているか。 実現性の高い提案となっているか。 | 6 |
| 災害に強い施設 | 災害廃棄物を迅速かつ円滑に処理できる施設 | No. 13 災害廃棄物の受け入れに対する取り組み、建築物の構造計画 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物の受け入れに対する取り組み及び考え方は適切か。 近年の災害対応実績の有無 災害時の運転計画に関する基本的な考え方について 新ごみ焼却施設等の立地条件等を踏まえた建築物の構造計画及び施設配置となっているか。 ※耐震性、耐水性を考慮した計画とすること。 | 3 |
| | 防災機能を有する施設 | No. 14 継続的な防災機能の保持に対する取り組み | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 継続的な安定稼働を実現するために必要な用水、用役等の貯留量に対する考え方は適切か。 調達先の確保に対する取り組みは考慮した提案となっているか。 運営事業者と構成員との間での連携を図るための取り組みはなされているか。 施設が被災した時の継続運転、復旧作業等についての対策はとられているか。 | 2 |
| 社会貢献、地域貢献 | | No. 15 社会貢献、地元企業等の活用、資材調達への協力、運転員雇用等 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 事業期間を通じて自主的に社会貢献活動を行っているか。 各種法令を遵守するための取り組みについて 建設から運営を含めて約40年間における地域貢献の考え方及び実現するための仕組み等 | 3 |
| | | No. 16 地元貢献金額割合 | 本項目は、以下の内容について審査する。 <ul style="list-style-type: none"> 本事業における地元貢献金額割合 【算定式】 得点 = 配点 × [入札価格における地元貢献金額の割合 (= 地元貢献金額/入札価格)] / [最大の入札価格における地元貢献金額の割合] | 5 |
| 非価格要素の得点 合計 | | | | 60 |
| 入札価格の得点 合計 | | | | 40 |
| 総合評価点（非価格要素の得点+入札価格の得点） | | | | 100 |